

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	馬路町	亀岡川東学園校舎増築及び特認校指定制度に関わって(1)	平成28年に定めました学校規模適正化基本方針に基づき、これまで取り組みを進めてきたところです。府内唯一の義務教育学校として、その特性・特徴を生かして運営しているところです。そうした中で、馬路町では移住定住促進に取り組んでいただくことで、一定の児童数の確保に繋がっているものと考えております。特に来年度の入学生は、40人を見込んでいるところです。その後についても、同人数程度は入学をいただける状況になっていると考えており、このような状況下にあっては特認校制度を用いて他の地域から入学をいただくことは非常に難しいと考えています。ただ、ご意見につきましては校舎の増築等も、今後の生徒数の推移を見極めながら、進めていきたいと考えています。また、市内全域で小学校や中学校の抱える状況は異なっています。児童数が増加している学校、また極端に児童数が減り、いわゆる複式学級で異なる学年の子たちが一つのクラスで学ぶということが市内の学校でもできています。そういったことを解消していくための取り組みも教育委員会として今進めています。児童数が増加する学校もあるので状況を見極めながら、校舎増築やその他の方法も含め対応策について検討していきたいと考えています。直ちに川東学園の校舎増築につながるかというと非常に難しいものがあります。校舎増築となれば多額の費用を要することにもなりますので、児童数や生徒数の推移を見極めながら、対応策を地域の皆様とともに、考えていきたいと考えています。	教育部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
2	馬路町	亀岡川東学園校舎増築及び特認校指定制度に関わって(1)	川東学園が義務教育学校になったことによって、大きく状況が変わってきたというのが正直な感想です。やはり、移住者がこの4町全体で増えつつあるということ、子育て世代が増えてきたことによって、子どもが増えてきたこと、これは大変ありがたいことです。千代川小学校については、新たに増築するように考えています。それは千代川町の区画整理事業の売り出しが今年から始まるようになってきており、千代川町高野林地域や小林地域で約150戸の住宅が新たに建つと聞いています。まだ、5年くらいかかるだろうと思いますが、子どもが40名、50名と増えてきます。この対策として、今年は設計図を書いています。来年から建て始めなければならない状況となっています。 馬路町においては、移住定住促進施策の一つとして本年4月から既存集落まちづくり区域指定制度の運用を開始しました。これがどう動くかによって、増築も考えていかなければならないと思っています。しかし、新たな人が来ないということであれば、できるだけ公共投資の抑制もしたいと考えていますので、現在はその状況を見ているところです。馬路町と河原林町でこの4月から運用を開始しました既存集落まちづくり区域指定制度ですが、千歳町においても制度運用を図りたいとの地域の意向を受け、現在、取り組みを進めております。できれば旭町にも取り組んでほしいと思っています。この4町で新しい方が来ていただけるようになれば、増築を考えていかざるを得ないと思っており、今は状況を見極めているところです。地元としても移住定住促進、空き家対策を含めて、取り組んでいただきたいと思います。 亀岡市としては、この地域に人口が増えることは大変ありがたいことです。将来に向けてこの持続可能な地域社会を作っていくためには、地域の自治会を含めた方々が集まっていただけるような取り組みが大切だと考えています。 また農業において、持続可能な形で農地を守っていくためにも人が大事ですので、移住者・Iターン・Uターンを含めて、補助金制度を利用いただくなどして、川東4町に子どもが増加すれば増築も含めて状況を見極めながら判断していきたいと思っています。	市長 (市長公室) (まちづくり推進部) (教育部)	①実施 ②実施予定 ③検討	馬路町におかれましては空き家バンクへの登録呼びかけなども含め、移住促進に大変な御協力をいただいていることに感謝申し上げます。今後も自治会や地元の皆様の御協力を賜りながら移住者の獲得に努めてまいります。 千歳町において、既存集落まちづくり区域(千歳地区)を追加しました。 こん談会での回答のとおりです。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
3	馬路町	亀岡川東学園校舎増築及び特認校指定制度に関わって(2)	川東保育所の園舎は、昭和49年度に建築されて以来、40年以上が経過しており、老朽化の状況や耐震診断の状況から、早期に耐震化工事、また施設整備を検討していく必要があると考えています。川東保育所の施設更新の方向性については、工事に係る事業費や、地域の教育・保育のニーズの状況を見ながら、検討していく必要がありますが、本市の公立保育所については、施設の老朽化が進んでおり、亀岡市全域の児童数の状況や保育ニーズも踏まえた上で、計画的な施設整備を実施していく必要があると考えています。 今年度、川東保育所ではエアコンの更新工事を実施しており、今後も、子どもたちにとって快適な保育環境を維持できるよう必要な改修をその都度行いながら、公立保育所全体の中で川東保育所の整備についても検討していきたいと思っております。その際には地元の要望内容や地域の実情も踏まえ、より良い施設更新となりますよう検討していきたいと思っております。	こども未来部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
4	馬路町	亀岡川東学園校舎増築及び特認校指定制度に関わって(3)	亀岡川東学園横の自治会管理地は、亀岡川東学園の参観日や学校行事等で保護者の駐車場として利用させていただいております。教育委員会はもちろんのこと、学校もそれにつきましては大変感謝しているところです。おかげをもちまして、今まで学校行事等が滞りなく進めていけるところです。しかしながら、市内の小学校中学校におきましては、こういった形で学校に来られる保護者の方々の駐車場の確保はこれまでできておりません。今後も、それぞれの学校の状況に応じた形で対応することになりますので、今回、使用ができなくなるというのであれば、地域の方々にも車での来校方法以外の方法で、お越しをいただくような形でお願いをしなければなりません。亀岡川東学園への格別の御配慮を賜りたく思っているところです。	教育部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
5	馬路町	丹波ニュー風土記の里整備構想の具体化によるにぎわいづくりに向けて(1)	亀岡市は大都市圏に隣接しながら、豊かな観光資源や文化財などにも恵まれたトカイナカであり、湯の花温泉・保津川下り・嵯峨野観光鉄道等の観光施設とサンガスタジアムといった3大観光を背景に、亀岡市観光協会や森の京都DMOなどと連携しながら観光入込客500万人を目指して、観光振興による交流人口の拡大に取り組んでいるところです。そうした中、それぞれの地域において、賑わいづくりに向けた各町のイベントを開催いただいております、大変ありがたく感謝しているところですが、亀岡市におけるイベントに対する助成事業としましては、地域経済の活性化につながる商店街振興を目的としたものしかございませんので、御要望のような財政的支援は難しい状況と考えています。ただ、そうした地域や団体の自主的なイベントであっても、広く市民に参加いただければ、賑わいの創出につながるようなものであれば、亀岡市観光協会や森の京都DMOなどと連携しながら、チラシの配布や広報紙への掲載など、PRや集客に向けた協力をさせていただきたいと思っておりますので、お申し付けいただけたらと考えています。なお、本年度は既に募集期間が過ぎていきますので、次年度以降の参考としていただきたいのですが、京都府の地域公共プロジェクトや亀岡市の地域支え合いまちづくり共同支援金などにつきましては、先ほどのような財政支援の部分でも活用いただける可能性があると思われしますので、詳しくは所管部署に相談いただければと思います。	産業観光部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
6	馬路町	丹波ニュー風土記の里整備構想の具体化によるにぎわいづくりに向けて(2)	丹波ニュー風土記の里整備構想につきましては、平成29年度に基本計画、平成30年度に整備基本設計の策定したところであり、今年度から10年間の計画で集中的に整備を進めていきたいと考えています。まず、今年度と令和2年度に史跡丹波国分寺跡と八幡神社跡の整備工事を2年間に渡って取り組みたいと考えています。その後、令和3年から令和4年度の2年間に鐘楼跡の整備を、令和5年度から令和8年度の4か年に僧房跡の整備工事を、残り令和9年にその他の整備工事を進め、10年間での整備を考えています。そうしたことが地域のにぎわいづくりにもつながるものと考えていまして、その間計画的に整備を進めていきたいと思っておりますので、地域の皆さまに御協力を賜りますようお願いいたします。なお、この間につきましては、仮駐車場として使用する事ができないかという声も聞いております。整備工事との整理を図りながら、仮設ということで一定の期間駐車場として利用いただくことは可能と考えていますので、仮駐車場につきましては、地域の方と相談をさせていただきたいと考えています。	教育部長	③検討	仮設駐車場に関しては、関係機関と調整を図り、今後、検討していきます。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
7	馬路町	丹波ニュー風土記の里整備構想の具体化によるにぎわいづくりに向けて(2)	今、国と政府で地方創生の中で観光を重視しています。それは、地域にお金を落とす影響が強いからという理由です。そこで大事となってくるのは、地域で稼げる観光を作ることです。例えば、亀岡の観光商品の金額というと、一人当たり1万円程、日帰りの場合は1,500円程度ですので、あまり今の段階では地域にお金が落ちるという状況にはなっていません。そのため大事なのは、まず何を売るか、売り物をしっかり決めて、馬路町のどこでお金を使ってもらうかを見定めることだと思っています。 今はモノが売れず、車ももたない人が増えて、シェアをする人が増えている時代です。モノ消費からコト消費に移っていると言われてます。単にお土産や農産物売るだけではなくて、例えば、この田園風景の中で自転車を漕ぐことにお金を払う人もいます。こういうところで汗を流してスポーツをすることに価値を見出す都会の人やインバウンドといわれている外国人もいます。また日本の歴史をお金を払ってでも見たいという人もいますので、そこにお金を払ってもらうという戦略をもつことが重要だと思っております。 また、情報入手の在り方も変わってきており、従来の紙媒体だけではなくて、インターネットを使って、旅をする前に情報入手をする方が増えています。その点については、地域だけではなく、民間企業を引き入れて、民間企業と地域と行政がタッグを組むことが重要になってくるものと思っています。今の亀岡市の施策として、自治体だけで観光を振興しようとしているのではなくて、旅行や地域の観光にノウハウをもったプロと組むことをお勧めしています。そういった方々と自治体と地域、それぞれが話し合えるような機会を持ちたいと思っていますし、その時は知らない外部の人が来たからといって抵抗するのではなくて、どうやったら地域にお金が落ちるのか、その在り方を一緒に考えていければいいかと思います。 亀岡に点在する課題や事業もたくさんあるので、その点と点を結んで線と線にし、それらを面的に発信するというのは、すごく重要になってきていることから広域連携が必要となってきています。DMOと呼ばれているような複数の自治体を束ねる観光協会のような役割を果たすものが、官民連携の中で立ち上がってきていますし、京丹波町では地域商社みたいなものが立ち上がって、地元の農産物を東京に売るとか、東京の人間を地域に連れてくるとか、そういう活動もしています。こういった在り方も含めて、少し観光振興について考えてみるのが重要になってくるかと思います。	仲山副市長 (産業観光部)	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
8	馬路町	カラスの捕獲に関わって	カラスの駆除について協力いただいていることに関しまして、感謝を申し上げます。駆除につきましては、御存知のことと思いますが、地元の自治会や亀岡の猟友会に協力いただく中で、カラスによる被害の大きい川東エリアを中心に、これまで実施してきているところです。平成29年度までは、馬路町と河原林町の2箇所に大きな捕獲檻を設置いただいておりましたが、有資格者あるいは狩猟免許保有者などの有識者の確保が難しくなってきたことや地元の事情によりまして、現在は馬路のみ設置いただいているところです。提案いただいた必要経費の適正化と行政負担につきましては、亀岡市としまして、次年度以降の予算協議において、費用対効果などの面から発生源対策の強化と併せて、鳥獣対策全体の在り方を見直す中で、予算関係部署だけでなく、他の関係する部署と協議を進めていきたいと思っています。特に発生源対策の強化については、環境保全委員会を中心に、権限を持つ南丹家畜保健衛生所や南丹広域振興局などと連携しながら、指導の徹底と強化に努めていきたいと思っていますので、引き続き御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。また、人材の確保におきましては、一人でも多くの有資格者を増やすために、猟友会への入会が条件となりますが、講習会費用の全額や受験費用の半額を補助しているところですので、地域のネットワークなども活用しながら、お声掛けをいただければと思います。なお、川東エリアにおける捕獲工事の増設につきましては、改めて関係する自治会や亀岡猟友会から効果や必要性などについて御意見をお伺いする中で、設置要望を取りまとめさせていただければと考えております。	産業観光部長	①実施	河原林町地内に捕獲檻の増設をするほか、ドローンによるカラス防除の検討会を2月20日に開催しました。
9	馬路町	京都スタジアム運用開始に伴う町内交通安全対策等について(1)	市道池尻宇津根線の宇津根橋北詰から府道宮前千歳線を結ぶ、延長にしまして約3キロの拡幅並びにバイパス整備を平成22年度から国営園場整備事業により、道路用地を創設願ひまして事業を進めているところです。昨年度におきましては、馬路町内120mの拡幅工事をしたところです。残る工事区間としまして、馬路町内では宮前千歳線の交差点付近で約210m、河原林町内では七谷川の橋梁新設と、南北取合い区間になるバイパス区間560m、宇津根橋付近の拡幅区間の280mとなっています。また、宇津根橋付近の園場整備区間におきまして、用地買収ができていない場所があります。交渉を行っているところですが、まだ同意が得られていない状況です。引き続き、事業協力を得られるように努めてまいりたいと思います。当該事業は、国の補助制度を活用し、事業に取り組んでいるところですが、近年、補助金の割り当てが限定的であり、計画的な進捗が図れないところが課題となっていますので、国へ必要性を強く訴えるとともに、早期全線完成に向けて取り組んでいきたいと思っています。	まちづくり推進部 事業担当部長	①実施	今年度、市道池尻宇津根線については河原林町地内の七谷川北側の約60m区間について築造工事を発注し、現在施工を行っているところです。近年、交付金の割り当てが限定的であるため、計画的な進捗が図れない状況ではありますが、先だって内示のあった令和元年度補正予算において池尻宇津根線に交付金が配分されたことから、来年度、府道宮前千歳線から約200mの未施工区間について予算上可能な範囲で道路築造工事を順次進めてまいりたいと考えております。
10	馬路町	京都スタジアム運用開始に伴う町内交通安全対策等について(2)	信号機の設置につきましては、京都府公安委員会の所管となっています。亀岡警察署に確認したところ、設置については交通事故の発生状況等のデータ分析、現場の位置環境、周辺住民さんとの協議調整等によって判断されると聞いています。亀岡市としましては、地域住民のみなさん、道路管理者や関係者との協議調整を図りながら、効果的かつ実施可能な交通安全対策を行っていききたいと思います。信号機の設置につきましては、次回の府民協働型インフラ保全事業ということで、京都府へ要望を出していく機会がありますが、地域からの要望として亀岡市としても働きかけをしていきたいと思っています。今後もセーフコミュニティ認証都市として関係機関と連携の中、運転者に正しい交通ルールや安全について、啓発活動や周知するとともに、交通事故を未然に防ぐための対策、安全・安心なまちづくりに努めていきます。	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。なお、今年度の府民協働型インフラ保全事業の募集は終了しているため、10月10日に馬路町自治会長から亀岡警察署へ要望書を提出され、担当課同席させて頂きました。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
11	馬路町	京都スタジアム運用開始に伴う町内交通安全対策等について(3)	府立京都スタジアムの共用開始に伴いまして、馬路町の圃場場整備区域内を始め、川東エリアの農道において、交通量が増加し、交通安全対策が必要となったときは、農業に支障がでないよう農道管理者、この場合は、川東土地改良区になるかと思いますが、一般車両などの通行禁止などの措置を講じていただければと思います。	産業観光部長	③検討	農道管理者と連携し、対応を検討します。
12	馬路町	京都スタジアム運用開始に伴う町内交通安全対策等について(3)	市道の交通安全対策としては、市内各所から要望をいただいているところです。全ての要望にお応えすることは大変難しい状況であることから、通学といった歩行者の通行や車両通行に危険があるなど、緊急性が高い箇所、自治会からの優先順位の高い箇所から実施しています。圃場整備区域内の市道における安全対策が必要なところにつきましては、平成27年度、28年度において交通安全施設整備工事により、交差点のカラー化、路面標示など、交通安全策を実施してきたところです。更なる安全対策につきましては、必要性や効果等も見極める中で、自治会をはじめ、公安委員会、関係機関との連携を図り、危険な箇所の調査を行っていききたいと思います。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
13	馬路町	京都スタジアム運用開始に伴う町内交通安全対策等について(4)	京都サンガの市民の盛り上がりが若干欠けるのではないかという御指摘について、現在、本市では京都サンガを市民全体で盛り上げていこうと、まずは市民の方々とサンガの距離的なものを縮めていく必要があると考えています。サンガからも地域の方に対し、どういったことが具体的にできるかを洗い出してほしいということで、協議を既に始めているところです。サンガにおいては、各自治会の文化祭や運動会、地域活動に極力参加をしていきたいという意向もあります。ただ、試合日と重なってしまったりすると、トップ選手はなかなか難しいですが、その点につきまして、亀岡市で調整をしていきたいと思っておりますので、希望日程等を文化・スポーツ課に申し出ていただければと思っています。 京都サンガ自体としては、一つの企業でもありますので、地域貢献としての地域活動への参加を強く希望されています。今後も情報を密にしながら、亀岡市からも発信しながら進めていきたいと思っています。しかし、サンガに来てほしただけでなく、市民としてもサンガを応援していくことが原則だと思っています。今回、整備されるスタジアムは、J2のままであれば年間に20数試合、ホームゲームとして行われます。その際にはできるだけ家族揃って現場でサンガの応援をしていただければと思います。自治会で取り組んでいただけることについては、現在、第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期計画のシンボルプロジェクトにおいて、紫のまちづくりなども進んでいますので、できるだけサンガの試合を馬路住民一体となって盛り上げようと、自治会として、住民側からの距離を縮めていくことが一番大事だと思います。ホームゲームについては、毎回、市役所からバスを出しますので、人数に限りはありますが、できるだけ現場へ足を運んでいただきたいと思います。	生涯学習部長	⑥その他	馬路町自治会が直接サンガに連絡をとって12月に実施しています。 また、馬路町からの応援バスの乗車はありませんでした。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
14	馬路町	子ども・高齢者に対する安全安心な交通対策について(1)	薄くなって見にくくなっている路面標示につきましては、調査を行って緊急性の高い箇所について優先的に補修を行っていきたいと考えています。また、安全対策として以前より路面標示やカラー舗装を必要性や効果が見込める箇所に関して実施しているところです。交通マナーを守り、思いやり、譲り合いの気持ちを持って運転いただくようドライバーに委ねるところもあるかと思いますが、更なる安全対策、例えば運転者への注意喚起のための路面標示や看板などの現地調査を行っていきたいと思います。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定 ⑥その他	今年度については、路面標示(学童注意)等の塗替えおよび、交差点マークの設置を予定しております。 京都府管理道路につきましては、府民協働型インフラ保全事業を活用いただき、地元から御提案をお願いしたいと考えております。
15	馬路町	子ども・高齢者に対する安全安心な交通対策について(2)	こちらは京都府公安委員会の所管となることから、亀岡警察署に確認をしたところ、道路管理上、実際のスピードを落とすことは難しいと聞いています。そういった場合ににつきましては、狭窄ポール等を設置し、自主的に走らない道を作っていくことも必要なかと思います。道路管理者による路面標示の検討、警察署との連携を図りながら、地元関係者のみなさんと担当者の中で協議を進めていく必要があるかと思います。路面標示については、府民協働型インフラ保全事業への申出が考えられるのではないかと思います。また、亀岡市におきましてはセーフティドライブプロジェクトといたしまして、ステッカーを車に貼っていただき、自分も安全運転を行い、また、ステッカーを見られた人へも安全運転の啓発をしていただくという取り組みをしていますので、馬路町の皆さんにも取り組んでいただきますようよろしくお願いします。	総務部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。なお、今年度の府民協働型インフラ保全事業の募集は終了しているため、10月10日に馬路町自治会長から亀岡警察署へ要望書を提出され、担当課同席させて頂きました。
16	馬路町	子ども・高齢者に対する安全安心な交通対策について(2)	通学路の安全対策として、「亀岡市通学路交通安全対策プログラム」を策定し、通学路の交通安全を確保・向上していくための取組を進めているところです。このプログラムについては、市の道路関係部門のまちづくり推進部、加えて総務部、教育委員会の3者が取り組みを進めております。加えて、国道事務所や南丹土木事務所、亀岡警察署にも状況に応じて加わっていただき、それぞれの連携をとりながら亀岡市の安全対策に取り組んでいただいているところです。ハード部門につきましては、先ほどもありましたように、道路管理者において進めていただくことになります。ソフト部門におきましては、ソフト部門と連携をとりながら学校教育の面でも取り組んでいきたいと思っております。引き続き、プログラムに沿って取り組んでいきたいと思っております。	教育部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
17	馬路町	子ども・高齢者に対する安全安心な交通対策について(3)	一旦停止に係る規制につきましては管理者である京都府公安委員会と調整を図っていきたいと思います。市道・府道への路面標示につきましては、当該箇所は市道と府道の交差点であることから、京都府の管理者である南丹土木事務所と連携を図り安全対策を検討していきたいと思っております。また、地元から府民協働型インフラ保全事業への提案をお願いしたいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討 ⑥その他	こん談会での回答のとおりです。
18	馬路町	子ども・高齢者に対する安全安心な交通対策について(4)	通称「馬路銀座通り」の安全対策ですが、当該路線は地元自治会からの要望を受けまして、平成24年度に通学路整備として路肩修繕、防護柵設置、カラー舗装を実施したところです。更なる安全対策としての、水路に蓋を設置することによる歩行空間の整備については、有効な手法とは考えていますが、他町との整備水準のバランス等も考えますと、なかなか厳しいと考えていますが、蓋をすることによる水路の維持管理、また、断面確保、民地側の景観の課題等もありますので、一度、調査をしまして課題点について自治会へ御説明なり相談に伺わせていただきたいと考えています。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。

R1 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
19	馬路町	子ども・高齢者に対する安全安心な交通対策について(5)	川東保育所では、子育て支援事業として、紙芝居や人形劇、絵本の貸出し、園庭開放など、未就園児親子に対する子育て交流や子育て相談の場の提供を行っています。今後も引き続き子育て支援事業をして、どんなことができるのかというのは、積極的に研究していきたいと考えています。	こども未来部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。
20	馬路町	子ども・高齢者に対する安全安心な交通対策について(5)	亀岡川東学園のグラウンドの利用ですが、これまで学校のグラウンドにつきましては社会体育の活動に利用いただいていたところですが、その他の利用につきましても、まずは、安全・安心して利用できるような対応が必要かと思えます。地域の中で見守りながら利用していきたいということも提案いただいておりますので、どのような形をとれば、子どもたちが安全・安心して施設利用できるのかということについては、しっかりと地域の皆さんとご相談をしながら検討していきたいと思えます。	教育部長	③検討	こん談会での回答のとおりです。
21	馬路町	【質問事項等】 池尻区一旭町間の道路への街路灯の設置について	池尻区から府道郷の口余部線へ向かう府道と思われますが、一度、現地を確認させていただきま。なお、京都府の管理となりますので、管理者との協議の上、検討していきたいと思えます。	まちづくり推進部長	③検討	当該区間については、主要地方道亀岡園部線であり、現地調査を行った結果、設置可能な支柱がないため、京都府の管理となりますので、管理者との協議の上、検討して行きたいと思えます。
22	馬路町	【質問事項等】 三ツ辻区内の街路灯のLED灯具交換について	今年度、市管理の防犯灯・街灯につきまして、全てLED灯具に交換する予定をしております。今年度末で全部を一括で交換する予定をしています。交換するまでについては、また別途連絡をいただいたり、調査をしていますが、3月までは現状交換等でさせていただきたいと思っています。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	市管理の街路灯につきましては、今年度中に全てをLED灯具に交換予定です。
23	馬路町	【質問事項等】 養豚場の臭気について	実は、土づくりセンターと養豚場については、最近また臭いが激しく、臭うという苦情を他の地域からもいただいています。今月に入ってから、愛知県にあるいろんな微生物を使って臭いを無くしているところに視察へ行ってきました。現在それを入手し、市内のある場所へ散布し実験を始めているところですが、これは、発酵を早くして臭いごと抑制して発酵菌をより活性化するというものです。今後、養豚場の方での散布を考えており、効果的には今月1ヶ月位でその菌がうまく繁殖して臭いが収まってくるのではないかと考えています。今は観察している状況ですので、期待いただきたいと思います。また、微生物を豚に食べさせれば、豚の糞尿自体の臭いもなくなってくるという状況ですので、それを含めて、養豚場の方にも導入するように提案していきたいと思っています。	市長 (産業観光部)	①実施	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
24	馬路町	【質問事項等】 宇津根橋の架け替え、千原交差点の交差点改良等の取組状況について	各種事業の進捗度合いについて大変申し訳なく思っていますが、宇津根橋については全体工事で約42億となっており、現在は橋脚が建ってきましたが、今年度は約9億の予算が確保されました。今後は亀岡右岸側の橋脚ができてくると聞いております。今の橋よりも、10m程度下流にできますので、馬路の方から行くと竹藪で右側が見づらいとのことですが、今回は少し下流に下がる分、少しは見通しが良くなるのではないかと思います。京都府の事業ではありますが、引き続き亀岡市も要望を重ねていきたいと思います。府道宮前千歳線についても長い間、千原交差点の改良がまだできていません。大変残念ですが、地元の方の協力が得られない、用地買収ができていないということです。その辺については皆さんにお力添えをいただきながら、用地買収ができるように京都府へ要望していきたいと思っています。	市長 (まちづくり推進部)	④要望	宇津根橋右岸側上下流の樹木を大幅に伐採いただいたことにより、見通しが改善されました。 千原交差点の改良につきましては、暫定的に用地協力が得られている箇所を今年度施工いただいたところです。
25	馬路町	【質問事項等】 池尻区の夜桜ライトアップに係る照明機器等の支援について	4月には、七谷川を中心に桜ウィークということで、南郷公園または七谷川、今年は平の沢池ということで、ポスターにも紹介させていただいたところです。ライトアップのLED器具については今年が35基、来年は60基ということですが、実行委員会組織でしていますので、馬路自治会も実行委員会の中に参加いただきまして、実行委員会の中で機器なり、コーヒーの提供なども考えていただいていますので、運営についても地元負担の掛からない中で川東地域一体として盛り上げていければと思っています。シャトルバスにつきましては、昨年は出雲神社までの運行でしたが、今年の春から水鳥の道まで延伸をしまして、今後、会議を開催する予定をしており、声掛けをさせていただきますので、実行委員会へ参加いただければと思います。	まちづくり推進部長	②実施予定	こん談会での回答のとおりです。
26	馬路町	【質問事項等】 災害時における要支援者等の避難体制の構築について	要支援・要介護の方々については、歩ける人、歩けない人のように、その人によって状態が大きく違うことから、個別に避難行動計画を策定していくこととしています。それに合わせまして、地元民生委員の皆さんには自治会の皆さんと協力いただく中で、具体的な避難行動計画対策会議を開いて、周知をしていきたいと思っています。亀岡市もこの間の災害状況を見ながら、夜の0時や1時になって避難と言われてもできないとも聞いております。最近では天気予報を含めて予測がある程度見えてくる状況にあるため、早い段階で避難できるように考えています。今後具体的な説明をさせていただきますので、その点について御協力をお願いしたいと思います。	市長 (健康福祉部)	②実施予定	要支援者の避難支援については、令和元年11月に川東民児協の委員の皆様が、避難所開設訓練として、馬路町生涯学習センターにおいて、車椅子、杖の方への介助方法や段ボールベットやパーテーションの設営・非常持ち出し等について研修をしていただいたところです。この研修には自治会の皆様にも参加いただきありがとうございます。 市としては、こうした訓練を通じ避難支援に対する知識を深めていただくと共に、個別避難計画の作成について民生委員及び各関係機関の支援者の皆様と連携しながら、進めてまいりたいと考えています。